

入園のしおり

保護者の皆様へ

このたび、平成29年度4・5歳児の入園募集をいたします。

穴師幼稚園は、穴師神社の参道にあり、大きな楠に囲まれた緑がいっぱいで地域の皆様にかわいがられ、地域と共に歩んできた、創立66年目を迎える歴史と伝統のある幼稚園です。

園庭の芝生や木々の緑が子ども達の心をやわらげ、優しさたくましさを持った穴師っ子が育っています。職員一同、一人一人の子どもたちに愛情をもって接していきますので、安心してお子さまを預けていただければと思っています。 お子さまの入園を心からお待ちしております。

たのしいことがいっぱい！

心に残る楽しい園生活は、子どもの感性を豊かにします。

穴師幼稚園では、こんな行事をしています。



保育参観 交通安全教室
 子ども誕生会(毎月)
 ふれあい遊び
 避難訓練 防犯訓練
 地域の人との交流
 絵本読み聞かせの会
 英語活動
 小学校との連携



【一学期】

入園式・進級式 園内めぐり
 こどもの日の集い 親子遠足
 ジャガイモ掘 虫歯予防デー
 泥んこ遊び 水遊び
 プール遊び 中学生との交流
 七夕まつり 夏祭り
 夏野菜の収穫

二測定 (身長・体重)
 健康診断 (内科・歯科・眼科・耳鼻科)
 尿検査 視力測定



【二学期】

敬老の日の集い 運動会
 他園との交流 だんじり曳き
 親子あそぼう会 中学生との交流
 秋の遠足(みさき公園)
 子どもフェスティバル(年長児)
 お花の会 造形展
 お餅つき お楽しみ会



【三学期】

コマ回し大会 節分
 音楽会 一日入学(年長児)
 お茶会 お別れ遠足
 ひなまつり 子どもお別れ会
 年長卒園式 終了式

動物・植物の
 飼育・栽培活動

命の大切さを知り
 優しさが育つこと
 を願って…





園児募集



入園できる年齢について

- 5歳児 平成23年4月2日～平成24年4月1日生まれ
- 4歳児 平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ

保育時間について (4歳児・5歳児 同じです) (登園時間 8:30～9:00)

4月当初より・・・週5回2時降園(月・火・水は給食、木・金は弁当)
 ※一時預かり保育について・・・希望する園児を保育終了後等に引き続き幼稚園で預かります。
 (利用料が必要)

幼稚園の費用について

- ★ 保育料 (利用者負担額) 保護者の市民税額によって決定します。
- ★ 諸費用 (1ヶ月) 2,000円程度 《教材費・誕生会・アルバム・園外保育・PTA会費 など》
- ★ 給食費 別徴収になります。1食260円程度。
- ★ その他 《入園前に制服・通園かばん・教材用品などの費用が必要です。》
- ★ 保険 独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害給付共済に全員加入します
 《保護者負担・掛金は年額200円です》



穴師幼稚園ってどんなところ?



穴師幼稚園は、公園に隣接し緑に囲まれ、とても自然環境に恵まれています。そんな中で子どもたちは、元気いっぱい身体を動かして遊んでいます。また、穴師小学校とも連携をとり、小学校へスムーズに移行できるようにしています。とってもかわいい3歳児・元気な4歳児・ちょっぴりおませな5歳児が、仲良く一緒に生活している・・・それが **穴師幼稚園** です。

情熱あふれる、明るい人間味豊かな職員が、子ども達を待っています。

★ 穴師幼稚園では、こんな子どもに育てたいと思っています。

[教育目標]

たくましい身体と豊かな心をもつ幼児の育成に努める。

- ☆ 健康で明るい子ども
- ☆ 自分の力でやろうとする子ども
- ☆ 友達となかよく遊べる子ども
- ☆ 思いやりのある子ども



遊べる力をつけてあげること

自分の手と足をしっかり使い、“よく遊ぶ子”が、かしくなっていく子どもです。小学校へ行った時の学習意欲にも結びつきます。

園では、子ども時代に是非、経験させなければいけない遊びをいっぱい準備しています。子どもにとっての **遊び=学習** なのです。



お家の方へ

今、子どもたちに大切なことは・・・

意欲のある子に育ててあげること

楽しい遊びやおもしろいことがあるとすぐに子どもは動き出します。

“やってみよう” “やりたい”と子ども自身が心を動かし行動する中で、“意欲”が育ちます。大人に「ああしなさい」「こうしなさい」と干渉され、指図の多い生活をしていると、自分から行動を起こす意欲は育ちません。自分でやったということが、意欲につながる大切なことなのです。

心を育ててあげること

“うれしい・悲しい・楽しい・くやしい”等の感情や“思いやりの心”は、数多くの体験や人とのふれあいを通して育っていきます。園では、一人一人の子どもが豊かに育つよう、スキンシップをしっかりと取りながら保育を進めていきます。認めてもらえる周囲の大人の温かいまなざしを感じながら、子どもたちは心豊かに育ちます。